

根来山げんきの森倶楽部

令和2年12月作業日誌



つんとした冷たい空気が森を包み、根来山にも本格的な冬が訪れています。令和最後の活動日は、たくさんの倶楽部員がそれぞれの作業に打ち込み、新年に向けて森を美しくしました。

活動日：令和2年12月20日 9:30～15:00 天気：晴れ時々曇り 倶楽部員：45人

大木倒し 絶景確保

スカイライン整備…午前中はチェーンソーを持参したクラブ員が4名。そのうちの3名を中心に2カ所に分かれてスカイラインの南斜面を整備。その他のメンバーは剪定鋏、鋸、斧を使い、蔓が絡んだ低い木を処理しました。私が所属した班はクスノキの大木の周りにマテバシイが茂った場所の整備でした。チェーンソーのエンジン音が響く中、木が倒される方向を注意しながらの作業。時折バリバリバリと大きな



音をたてて木が倒れる音に作業の手を止め、顔を上げる。徐々に視界が開け、南側に広がる色づいた山や町を確認する。という具合。別の場所では蔓の絡みがひどく整備が大変だったようです。午後からは新たにチェーンソー1台とクラブ員4名が加わり総勢16名に。更に一カ所追加で藪を整備されました。作業中、数組の子連れの方々が歩かれていました。眺望が良いおすすめポイントが出来ました。下草が少なかったのでクスノキとマテバシイにアレロパシーがあることを調べました。(参照論文：Naturalistae 14: 1-7(2009) 「里山と校庭の樹木落葉のアレロパシー」佐藤大地・高橋和成)(田中 美加)



炭焼き窯 解体へ

窯の解体…炭焼き1号窯解体準備に続いて、今日は窯本体の解体です。12名の方に参加して頂きました。窯解体班と土を篩(ふる)う班に分かれての作業です。壊した窯の土をテラーに積み、篩班が篩にかけていきます。事前にSさんに作って頂いた荒目の篩でひたすら篩います。この土は2号窯の補修に使います。途中、解体スピードを上げるため、緑花センターより削岩機を借りたのですが、上手く作動せず従来の作業となりました。この日は全て解体出来ず14時30分に作業を終了しました。気温6度の中の作業であまり汗もかかず心地よい疲れが残った活動日でした。参加された方々ご苦労様でした。(牧野 治喜)



見事な孟宗竹 門松に

竹の切り出し…今日で今年最後の活動日となりました。毎年密かに楽しみにしている広場のヒマラヤ桜も既に散ったあとでした。いつも正月明けの開花と記憶していたのですが、何だかんだと今年も暖冬の部類なんではないでしょうか。今日の作業は、正月の門松に使う竹の切り出しに参加しました。7名の参加でした。現場へは車に乗り合わせて向かいました。ふもとに出てしまい、更に紀の川も渡ってしまい、「一体どこへ行くのか」と思っていたら、桃山町の竹林に着きました。会員さんの知り合いの竹林だそうです。早速みんなで切り出し作業を始めました。見事な孟宗竹がたくさんありました。二人いた女性の方は、伐採作業は初めてだったそうです。ベテラン会員さんに受け口と追い口の作り方を丁寧に教わっていました。竹は樹木より切りやすいので、入門には良かったと思います。切り出した竹は門松に使うため、枝もノコで丁寧に一本ずつ落としました。いつもの調子で枝をナタで払うと幹の皮までむいてしまい、見栄えが悪くなってしまいます。十分な本数がそろったら、トラックに乗せて戻りました。お昼のおみそ汁おいしかったです。また来年。(佐藤 広明)

会員さんに受け口と追い口の作り方を丁寧に教わっていました。竹は樹木より切りやすいので、入門には良かったと思います。切り出した竹は門松に使うため、枝もノコで丁寧に一本ずつ落としました。いつもの調子で枝をナタで払うと幹の皮までむいてしまい、見栄えが悪くなってしまいます。十分な本数がそろったら、トラックに乗せて戻りました。お昼のおみそ汁おいしかったです。また来年。(佐藤 広明)



来春へ期待込め

漆谷整備…クラブ員5名本日の作業は、先月に引き続き、ウルシ、クヌギ、サクラそしてコブシに寒肥(花木などが休眠している冬期に肥す肥料)として鶏糞散布。先月の残り20kg入り2袋と新規2袋の4袋です。高齢の我々には道路から散布場所までの搬入にも一苦労でした。来春、木々の芽吹く時期に成長の足しになってくれることを期待しながら。そして肥料切れで本日でできなかった最奥部の約20本の漆への散布は、1月の作業予定に。他方2名は、ウメの剪定と矯正でした。仕上がりは見事な枝ぶりでした。最後は皆で、干上がった Pond (池) に堆積した砂を除去。昼からは早退の方が大半で解散。追記：漆谷整備の最古参 M さんが朝の集合時、体調が悪く作業を休まれました。来月は元気に現場復帰され、また蘊蓄のある話を聞けることを待っております。(藤園 満郎)

工房ピカピカに

ワックスがけ…女性3人で工作室のワックスがけをしました。リーダーがテキパキと指示してくださり、順調に進み午前で全て片付けました。壁際の棚の中の道具を全て取り出し、棚を移動し、掃き掃除やモップで拭き掃除をした後、ワックスをかけました。壁四方、真ん中同様に荷物を移動して作業し、スッキリ気持ちよくなりました。たくさんの手作りの椅子を発見し、また欲しくなっていました。家には、タンコロやフクロウくんがすでにいるのに。(萬賀 伊津子)

年末に降った雪が年明けまで残るげんきの森ですが、冷たい空気の中で葉を落としきったコナラやヤマザクラの枝がスッキリと青空に伸びています。余分なものを落としきった落葉樹の冬の枝の思いきりは、さわやかですらあります。私たちが古いものにとらわれず、気分新たに新しい時代に漕ぎ出していきましょうか。(岡田 和久)



編集:秦野裕子